応物九州地区若手チャプター・学生チャプター合同セミナー 第二回連携研究会 報告

2023 年 10 月 6 日（金） ざうお本店（福岡県福岡市西区小田７９－６）
主催：応物九州地区若手チャプター、応物九州地区学生チャプター
参加人数 32 名（うち現地参加 28 名）

第一部 13:00-14:00 招待講演①「半導体の社会実装」
早稲田大学 川原田 洋 教授
14:00-14:30 招待講演②「知財活用の事例」
九州大学 Airimaq 古橋 寛史 教授
14:50-16:00 研究紹介、話題提供(1 人最大 8 分)
第二部 16:00-18:00 意見交換会、BBQ

応物九州地区若手チャプター・学生チャプター合同セミナー第ニ回連携研究会が、ざうお本店（福岡県福岡市西区）にて開催された。現地参加人数は 28 名、オンライン参加者は 4 名であった。まず始めに早稲田大学の川原田教授より、「半導体の社会実装 -ダイヤモンドを例にして」というタイトルで招待講演を頂いた。シリコンアイランド九州の復活に向けて、TSMC を中心に半導体投資が過熱しているが、最新の技術動向と日本の強みについて分かりやすく説明頂いた。日本は液体を扱う分野に強く、コータやデベロッパでは高いシェアを維持していること、今後生成 AI 系の誕生により半導体の需要がさらに 2 倍ほどに拡大する見込みであること、パワー半導体市場における日本企業の役割についてお話しいただいた。後半は、ダイヤモンドのパワー・高周波デバイスを例として、FET 動作の技術解説を頂いた。大口径ウェハとして、ヘテロエピ基板に加え多結晶ダイヤモンド基板の可能性にも言及頂き、単元素から成る次世代の半導体材料として大変魅力の伝わるご講演であった。二番目の招待講演では、九州大学の古橋様より「知財活用の事例」というタイトルで、九州大学における知財活動の取り組み、九州・沖縄地区スタートアップエコシステム拠点に関するお話をいただいた。サイエンスドリブン、イシュードリブンの総合知創出プラットフォーム、PoC 資金獲得のための相談窓口についてご紹介いただき、若手研究者および学生に大きな刺激を与えていただいた。その後、1 人最大 8 分間の「研究紹介・話題提供」では、最新の研究トピックの紹介と、研究以外での様々な取り組み（税制度に関する調査、インボイス制度の勉強等）について話題が提供された。
第二部の意見交換会では、砂浜で BBQ と絶好のロケーションを楽しみながら、夢や今後の展望、将来の相談など若手研究者と学生間で語り合った。ご参加いただいた皆様、および招待講演者の川原田先生、古橋先生には、重ねて御礼申し上げます。